

北米の大学図書館事業における 他組織との連携協力について —研究支援の観点から—

2018年6月14日
第65回国立大学図書館協会総会
平成29年度国立大学図書館協会海外派遣事業 海外派遣報告

大阪大学 産業科学研究所 図書室
小村 愛美

目次

1. 訪問機関と調査内容
 2. 訪問の目的
 3. コーネル大学 arXiv
 4. ミシガン大学 HathiTrust
 5. まとめ
- 終わりに

1. 訪問機関と調査内容

	訪問先	調査内容
11/6	Cornell University Albert.R.Mann Library	・Cornell Undergraduate Information Competency Initiative ・情報リテラシー教育
11/7	Cornell University arXiv事務局	arXiv ・事業における連携の位置づけ ・連携構築と継続の取り組み
11/9	University of Michigan Taubman Health Sciences Library	情報リテラシー教育
11/10	University of Michigan Hathi Trust 事務局	HathiTrust ・事業における連携の位置づけ ・連携構築と継続の取り組み

2.訪問の目的

- 長年事業を継続している米国の学術情報プラットフォームを訪問
- 調査事項
 - ✓ 事業における, 他組織との連携協力の位置づけ
 - ✓ 連携の内容
 - ✓ 他組織との関係構築と継続に対する取り組み
- 日本の大学図書館への示唆を引き出す
 - ✓ 他組織との連携事業をどのように捉えるか
 - ✓ 連携事業の開始段階・持続性確保の段階では何が重要なのか

3-1. コーネル大学 arXiv

- 物理学, 数学, コンピュータ科学等のプレプリントサーバ <https://arxiv.org/>
- 1991年発足
- 掲載論文: 136万件超(2018年)
- 参加機関: 210超(2018年)
- 年間予算143万ドル
 - ✓ 財団助成金(50%超), 参加機関会費(35%), コーネル大学図書館(12%)
 - ✓ 出版社等からの資金は受けていない
- インタビュー: Oya Rieger氏(Program Director)

3-2. arXivにおける連携

モデレーター 約150名（無償）

- 論文投稿数：1日600件
メタデータ等は投稿者が入力



モデレーターによるチェック ⇒ 約10% 修正・不採用
（剽窃，理論的問題）



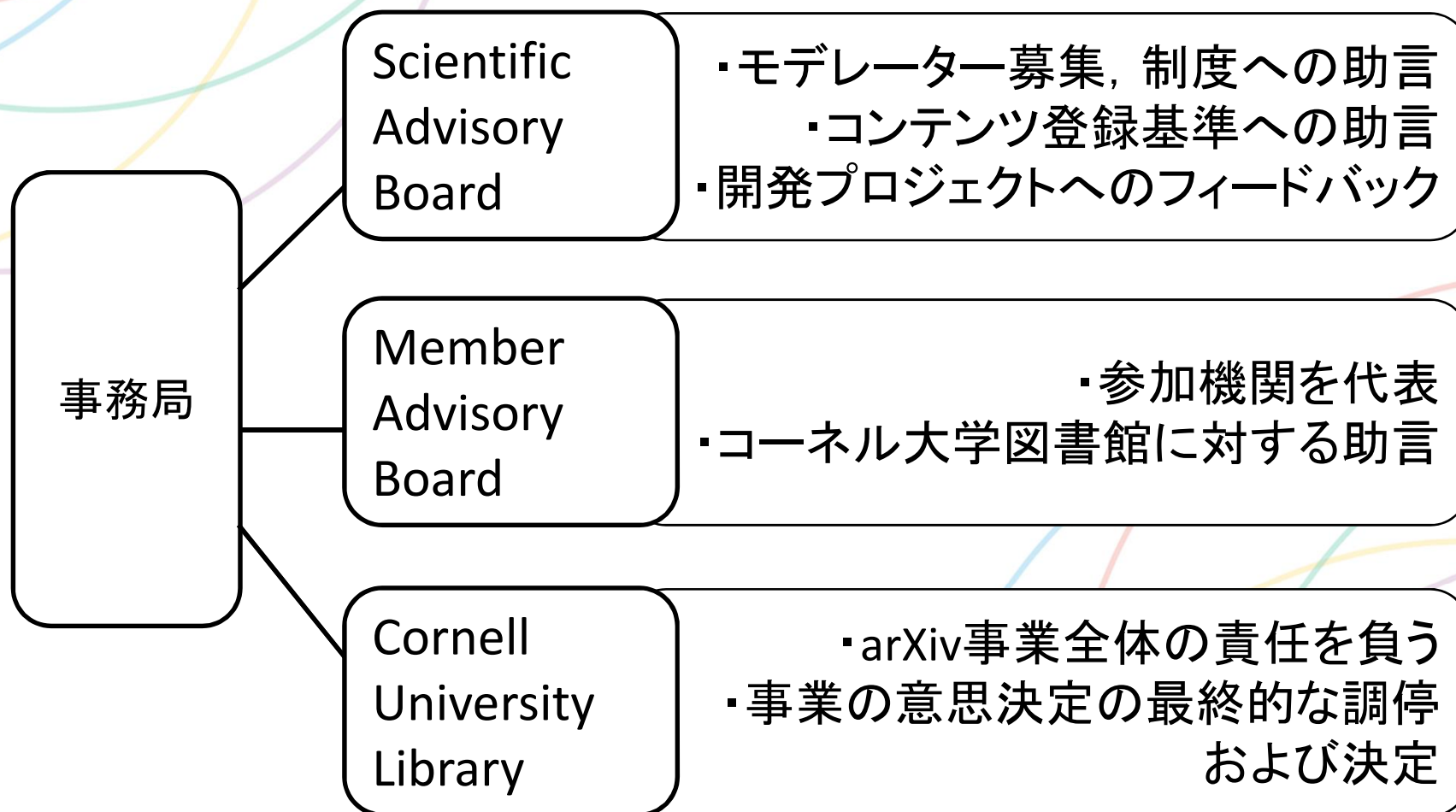
（1業務日）



公開

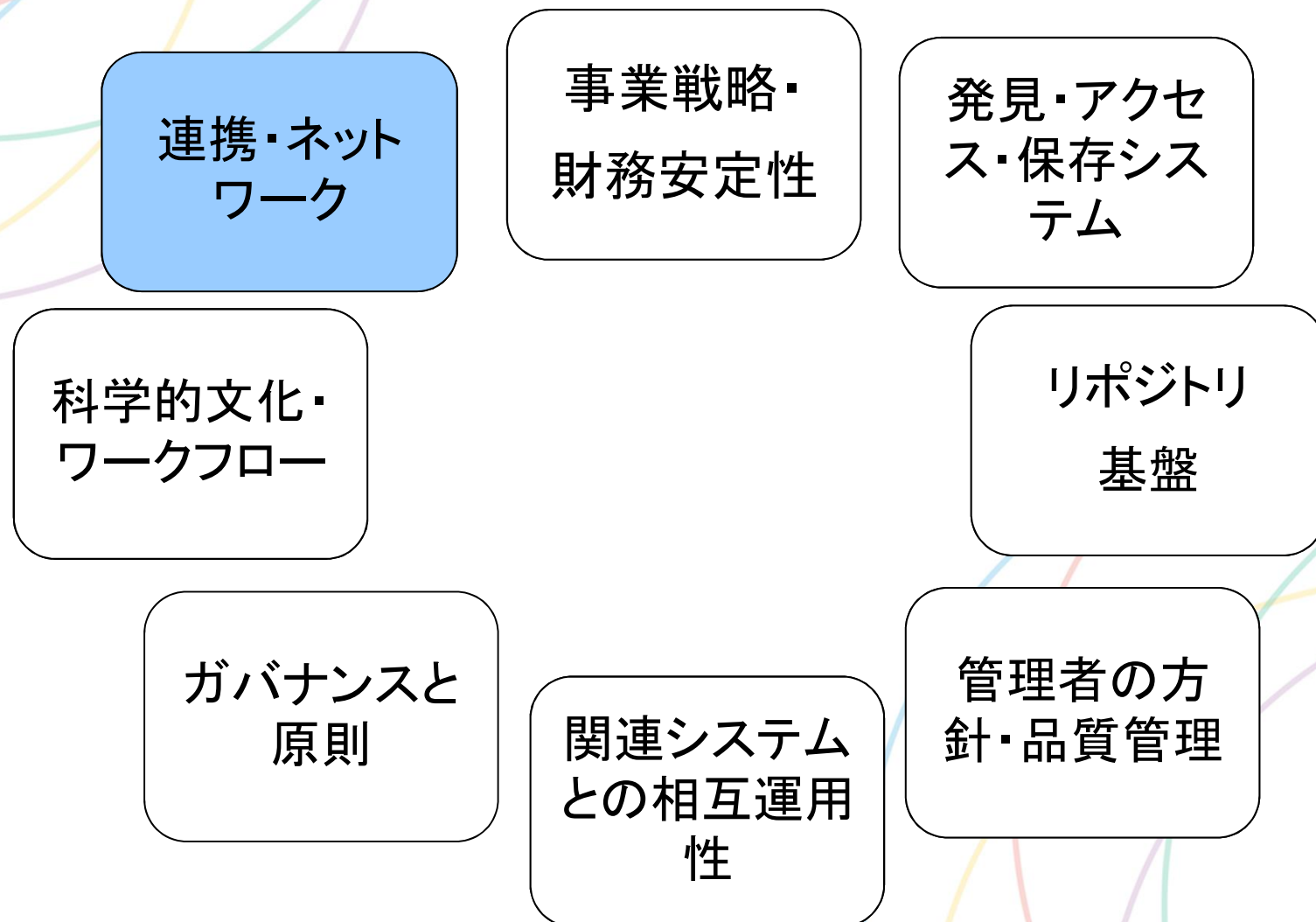
3-2. arXivにおける連携

委員会との分担・連携



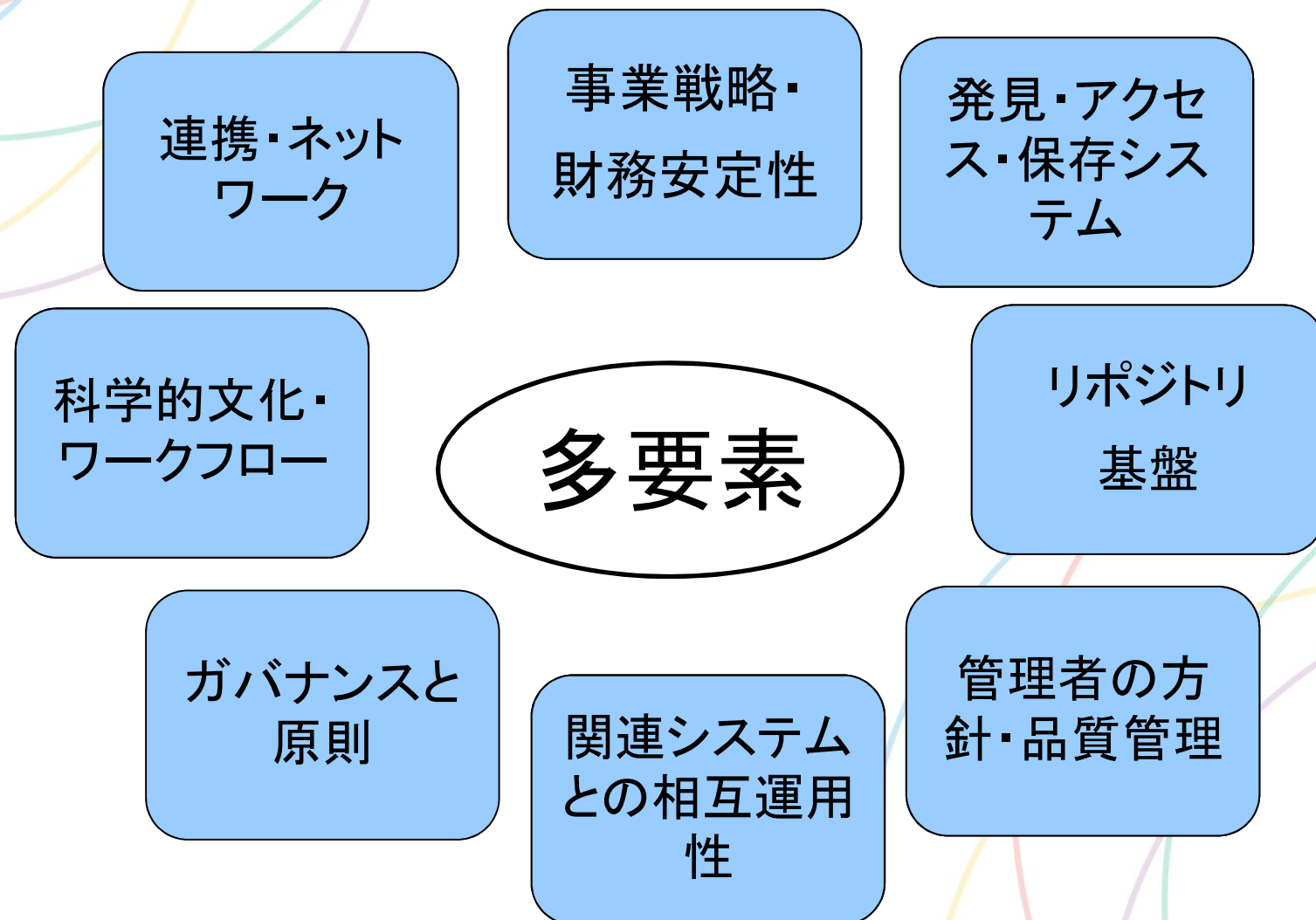
3-2. arXivにおける連携

事業継続に必要な要素



3-2. arXivにおける連携

事業継続に必要な要素



3-3. 多要素－ 例）事業計画

- 創設者Ginsparg氏
→ コーネル大学図書館へ移管
- 8年前, コーネル大学図書館の予算見直し
→ 資金調達の必要性
- SPARCなど先行する事業にインタビュー
- 2年かけて事業計画策定, 財団の助成金を得た
- 財団からの却下も. 計画を練り直し再申請

4-1. ミシガン大学 HathiTrust

- 米国大学図書館協同の書籍アーカイブ

<https://www.hathitrust.org/>

- 2008年発足
- 電子化コンテンツ: 1580万点 (2017年)
 - ✓ 書籍770万点, 逐次刊行物43万タイトル,
アメリカ連邦政府文書110万点超
- 参加機関: 130超
- 年間予算345万ドル: 全て参加機関会費
- インタビュー: Sandra McIntyre氏, Kristina Eden氏,
Melissa Stewart氏

4-2. HathiTrustにおける連携

中心機関の分担・連携

	ミシガン大学	インディアナ大学	イリノイ大学	カリフォルニア大学
事務局	○			
リポジトリ基盤	○	○		
研究センター		○	○	
メタデータ管理				○

ガバナンス

- 理事会, プログラム運営委員会, ユーザサポートWG等, 意思決定と運営に多数参画

4-2. HathiTrustにおける連携

Programmatic Work

- Copyright Review Program
 - ✓ HathiTrustコンテンツの著作権の調査プログラム.
 - ✓ 2008年から, 22図書館50人以上が60万件を調査.
- U.S. Federal Government Documents Program
 - ✓ 米国連邦文書のコレクション構築, 目録作成, 電子化, アクセス提供, 保存等
- Shared Print Program
 - ✓ 参加機関間のシェアードプリント. 各機関の蔵書とHathiTrustコンテンツを突合, 集合管理を進め, 全体の管理コストを削減

4-2. HathiTrustにおける連携

連携に必要な要素

- 他組織と取り組みを始めるとき、および維持のために重要なこと:
 - ✓ 関係性
ミシガン大学・イリノイ大学など：長年の交流と信頼関係（スポーツ，図書館ILL等）
 - ✓ 段階
小規模のプロジェクトから始め，少しずつ拡張．信頼関係も徐々に．

4-2. HathiTrustにおける連携

事業の継続に必要な要素

- 意思決定の透明性
 - ✓ 事務局長のリーダーシップ + 各WG・タスクフォース・理事会との密な意見交換
- 時間
 - ✓ 大きな意思決定，事業の発展には長い時間と議論
 - ✓ 拙速に進めるとうまくいかない

5.まとめ

- 他組織との連携：重要性
- 事業の各要素と密接に関連
- 背景に事業計画や戦略が必須
- 事業計画，意思決定の透明性
- 信頼関係の構築，事業の進展に長い時間

5.まとめ

- 日本で行う場合：
事業計画＋担当者の継続的配置 が必要
- 継続的配置は困難…？
 - 詳細・強固な事業計画
 - 数年ごとの担当者異動：長所と短所
 - 部署や適性により、「数年で異動」
「長期の配属」使い分けなどできないか？

終わりに

- 本報告の詳細
- 「大学図書館研究」109号
掲載予定

終わりに

国立大学図書館協会の皆様
大阪大学・富山大学の皆様
コーネル大学・ミシガン大学の皆様
調査にあたり助言を下さった皆様

ありがとうございました